

# 地域情報通信基盤整備推進交付金事業事後評価

<b>事業名</b>	地域情報通信基盤整備推進交付金事業							
<b>事業主体</b>	東北町							
<b>所管部署</b>	企画課							
<b>事業の概要</b>	<b>事業年度</b>	平成21年度補正		<b>事業完了日</b>	平成23年6月17日			
	<b>総事業費</b>	1,823,850千円			<b>補助対象事業費</b>	1,823,850千円		
					<b>交付金額</b>	607,950千円		
	<b>整備対象地域</b>	東北町 地内						
	<b>条件不利地域</b>	辺地(長者久保、数牛、淋代、横沢、浜台、田ノ沢、添ノ沢、美須々、五十嵐、輝ヶ丘、萌出、鶴ヶ崎、蓼内、舟ヶ沢、寒水、夫雑原、狼ノ沢、虫神地区) 半島(旧東北町全域) 豪雪(町内全域)						
	<b>事業の内容</b>							
青森県上北郡東北町は、町内全域において光回線による高速通信サービスが提供されておらず、特に町北部ではADSLの接続すらできない集落が点在しており、地理的条件等からサービスエリアの拡大は望めない状況にあった。また、防災無線の整備により、行政からの緊急情報伝達のための対策を施してきたが、それだけでは不十分であり、新たな情報伝達手段が必要となっていた。さらに、隣接する米軍基地の航空機飛行に伴う電波障害対策として、テレビ共同受信設備が町内ほぼ全域に整備されているが、アナログ放送の終了に伴う地上デジタル放送への対応が求められていた。 そこで、町内全世帯(企業等を含む)に提供可能な光ファイバケーブルの整備を行い、電気通信事業者とのIRU契約により光ブロードバンドサービスの提供を実現させ、地域間における情報通信格差の是正と地域の活性化を図った。また、整備した光ファイバケーブルを活用し、地域住民のニーズに対応した防災行政情報チャンネルやコミュニティチャンネルを提供することで、リアルタイムに情報の共有を図り、地域の一体化を促進するとともに、安心安全な町づくりを目指した。さらには、町内全世帯に地上デジタル放送とBSデジタル放送の再送信による多チャンネルサービスを提供することで、難視聴の解消と生活利便の向上を図った。								
<b>BB</b>	<b>サービス開始日</b>	平成23年7月1日						
	<b>サービス形態</b>	公設民営(IRU契約)						
	<b>契約先</b>	東日本電信電話株式会社						
		<b>整備計画時の目標</b>		<b>実績</b>				
		<b>初年度</b>	<b>最終</b>	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28年度末
	<b>整備地域の世帯数</b>	6,700	6,700	6,721	6,747	6,776	6,793	6,809
	<b>加入世帯数</b>	1,390	2,100	2,130	2,231	2,285	2,386	2,516
<b>加入率(%)</b>	20%	30%	31%	33%	34%	35%	36%	
<b>C A T V</b>	<b>サービス開始日</b>	平成23年6月9日						
	<b>サービス形態</b>	公設公営						
		<b>整備計画時の目標</b>		<b>実績</b>				
		<b>初年度</b>	<b>最終</b>	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28年度末
	<b>整備地域の世帯数</b>	6,700	6,700	6,721	6,747	6,776	6,793	6,809
	<b>加入世帯数</b>	6,700	6,700	6,681	6,707	6,736	6,753	6,769
	<b>加入率(%)</b>	100%	100%	99%	99%	99%	99%	99%

<p><b>これまでの加入促進の取組</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年6月から7月にかけてサービス開始及び手続きのための説明会を開催し、同時期にパンフレットなどを毎戸配布した。</li> <li>・東北町ITサポートセンターでのパソコン講習会を開催(93回、のべ615人参加)、またブロードバンド相談窓口を設置(相談者数のべ308人)。</li> <li>・町広報誌へブロードバンド開始記事を掲載。</li> </ul>	
<p><b>成果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ全世帯への地上デジタル放送や、BSデジタル放送の再送信による多チャンネルサービスの提供によって、地上デジタル放送移行に伴う難視聴地域が解消された。</li> <li>・地域のイベントや防災情報を扱ったコミュニティチャンネルの開設により、町からの情報提供がほとんどの世帯に迅速かつ詳しく届ける事ができるようになった。</li> <li>・情報格差の解消のための環境が整った。</li> </ul>	
<p><b>効果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部と比較してほぼタイムラグなく情報収集が可能になり、地域の活性化につながった。</li> <li>・地上デジタル放送とBSデジタル放送の再送信による多チャンネルサービスの提供により、生活利便が向上した。</li> <li>・自主放送「東北町テレビ」を通じて、町のお知らせや町の出来事などを各家庭に届ける事が可能になり、町民サービスがスムーズに行われ、また地域の一体化が進んだ。</li> </ul>	
<p><b>評価及び課題</b></p>	<p>光ブロードバンドサービスに関しては、整備計画時に挙げた加入率30%は達成できており、また少しずつではあるが加入率が増えてきている。また、地域間の情報格差の解消も進んでいる。</p> <p>多チャンネルサービス及び自主放送受信に関しては、加入世帯数は整備対象世帯数に対して99%加入と目標をほぼ達成できている。自主放送の内容をより充実したものになるよう継続して取り組んでいく。</p> <p>課題としては、今後増えていこうと予想される整備した設備の維持管理費や自主放送機材の更新についての問題が挙げられる。</p>	
<p></p>	<p><b>BB</b></p>	<p><b>CATV</b></p>
<p><b>今後の取組及び方向性</b></p>	<p>町民がブロードバンドサービスを安定して受けることのできる環境を今後も維持する。</p>	<p>自主放送チャンネル「東北町テレビ」について、町の情報や、地域イベントの情報やその様子をより分かりやすく放送するなど、より一層の充実を図る。</p>